

活動報告書

今月の主な活動

12月はシルク機構の開発に伴うデザインが多く本業で活動することの多い月でした。

1点目は新製品「まゆ玉ナイトキャップ」発売に伴い、同封する特徴・使用上の注意などを記載した取扱書です。ふわふわのニットのような従来の艶のあるシルクスカーフのイメージとは違ったシルク製品だったので、角を取った柔らかい丸みのあるデザインにしました。

2点目は2月から開催される手編みニット展のチラシ作成です。今後はこのチラシが来たらニット展と分かるようにしていきたいとの要望と、手編みというところに拘りがあり、通常業務でもなかなかやらない手間のかかるチラシとなりました。ウェブ上でチラシを独り歩きさせても Tomioka Silk が目立つようにしています。手編みニットというどうしても古臭いイメージが私のような手編みに無知な人間には感じてしまうのですが、今後の応募される作品も型を破った作品が出てくることを期待したいところです。

3点目はからっ風ラボから発売されている富岡シルクを配合したかかとクリームのパッケージデザインです。1月22日までMAKUAKEでクラファン販売を行っています。既に目標金額を達成しています。

<https://www.makuake.com/project/karakazelabo-2/>

ラベルはまた未公開なので、掲載できませんが+（プラス）シルクの部分をからっ風ラボの風車とアレンジしたデザインとしています。

今月のまとめ

2023年も終わり4カ月富岡シルクの現在を見てきました

が、今後どう進めるか、富岡シルクのビジョン・ミッション・バリューの外形が出来てきているように感じます。単純な収益化にはまだ道のりは長いですが、経営進捗としては悲観する状態ではなく、地道な努力の積み重ねと勢いの付け所が見えてくると加速できるような予感を感じます。

「〇〇だからダメ」、から、「〇〇だから良い」に思考転換していくと大量生産と闘えない欠点が利点になり活路を見いだせるかもしれないと期待していきたく思います。

富岡市の養蚕農家が丹精込めて育てた繭の真わたを紡いだ糸で作りました。

ふわわりふわわり まゆ玉ナイトキャップ

ふわわり軽い空気を含んだ柔らかいシルクがやさしく包み、髪を労わります。シルクは吸湿性・放湿性に優れているので、髪や頭皮を乾燥から守ります。

ナイトキャップの4つの効果

- 1 摩擦から髪を守る
- 2 髪や頭皮の乾燥を防ぐ
- 3 寝ぐせを防ぐ
- 4 曇さ・曇さ対策

〇髪を乾かしてからご使用ください〇

毛流れに沿うように

●髪をきれいに乾かしてからナイトキャップを着てください。
●濡れた髪をキープするように、上からすぼり取りまじりましょう。

ロングヘアの場合

●中でクルクルと巻いてからまとめて収納すると毛流れが直りやすくなります。

組成：東国シルク(ルーブリック) 94%、ポリウレタン 6%
カラー：全3色(ホワイト/パビーゼンク/ブルーグレー)
サイズ：30 X 33cm
※お洗濯の際は、ネットに入れ中性洗剤をご使用ください。
※ニット製品ですので糸引けにご注意ください。
引けた糸は必ず手洗いへ送付してご返送ください。
※シルクの特性上、紫外線等により経年黄変します。

企画販売：一般社団法人富岡シルク推進機構 tomioka-silkbrand.jp

TOMIOKA SILK

手編みニット展

富岡シルクで新たな発見 新シルクニットの世界

第3回 作品展 & コンテスト

開催期間
2024年
2月8日(木)~27日(火)
最終日15:00まで

会場
世界遺産宮内閣永徳
国史資料館 多目的ホール
※見学無料(ただし、観覧券は別途有料で販売しております。)

コンテスト
※審査員は、富岡市在住の専門職員による。
1位入賞者へ、富岡シルクオリジナルシルク製品を贈呈。
※応募資格は、年齢・性別・国籍を問わず、富岡市在住の方に限ります。

トークショー特別ゲスト
ニットデザイナー
広瀬 光治氏
日時：
2月11日(日)
14:00~15:00
【事前申込・抽選制】

プロフィール
東京生まれ、通称「ニットの魔道士」
ニットの歴史から最新のトレンドまで幅広く、
に国産シルク、素材・技法・機織り・染色・仕上げ(縫製)など多岐
にわたる知識・経験に「新しい機織り機織り」に注力中。
お申し込み方法は抽選制です。